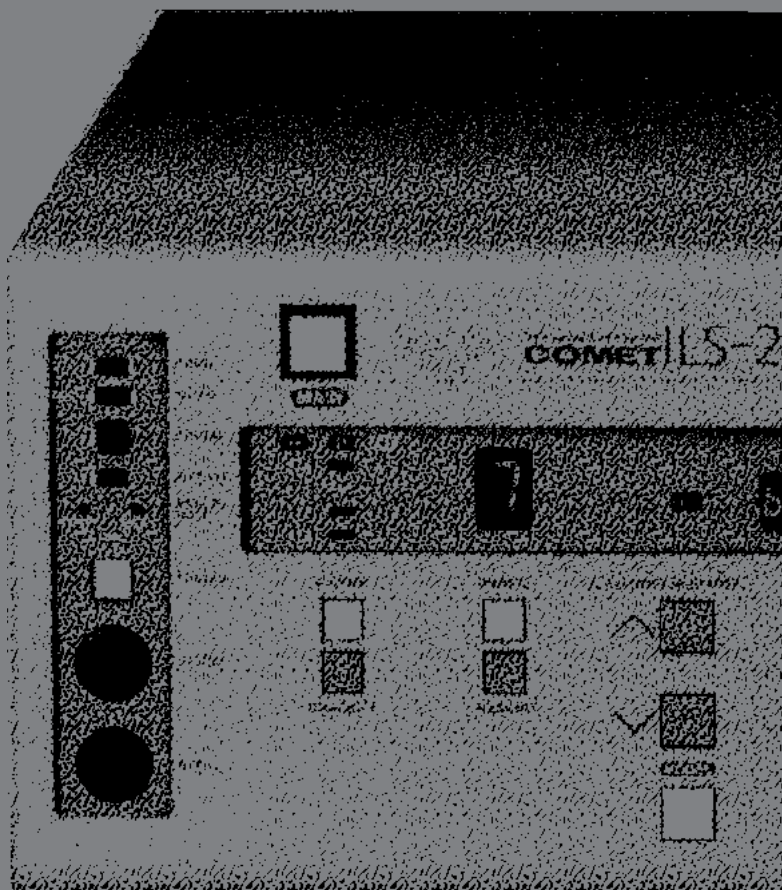


COMET

ILS-1200/2400a

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも
見られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、コメット ILS-1200/2400a 電源部をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は長年の実績を誇る ILS-D シリーズをベースにパワーアップし、メモリー内蔵とワイヤレスリモコンによる遠隔操作など、多彩な機能を搭載した電源部として生まれ変わりました。なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえでご利用ください。

付属品

- | | | | |
|-----------------|---------------|----------|----------------------|
| ● ACコード | 1.5 m | 1 本 | ● 取扱説明書 |
| ● IR-R 用 DCコード | 2 m | 1 本 | ● 保証書 |
| ● アースコード | 80 cm | 1 本 | |
| ● ヒューズ ILS-1200 | ストロボ用 | 15 A 1 本 | ／ モデリングランプ用 3 A 1 本 |
| | ILS-2400a | ストロボ用 | 20 A 1 本 |
| | | | ／ モデリングランプ用 10 A 1 本 |
| ● ワイヤレスリモコン | RC-T2 (単 4 電池 | 2 本付き) | 1 個 |

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1 ～ 4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6 ～ 9
4. 操作手順	10 ～ 12
5. 各灯バリエーター	13
6. マスターバリエーター	13
7. 出力モード	14
8. モデリングランプキー・モデリングランプモードスイッチ	14
9. メモリーの登録・呼び出し	15 ～ 17
10. オートブラケット機能	17 ～ 19
11. リモートコントロール機能	19 ～ 20
12. 不発光警報	21
13. 過熱警報	21
14. リセット	22
15. ヒューズ交換	22
16. 保証とアフターサービス	23
17. 仕様	24 ～ 25

1 安全のため特にご注意ください

■ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。

■注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

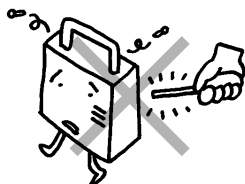


警告



- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。
また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。
十分注意をしてください。



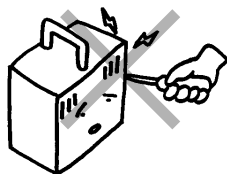
- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。
漏電による感電の恐れがあります。



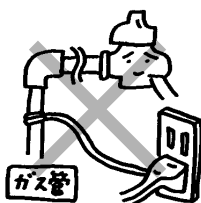
- 電源部の出力コネクター金属部には、絶対に触れないでください。
電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



- 電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。
感電、ショートによる発火の恐れがあります。



- 感電防止のため、必ずアース（接地）してください。
アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いて行ってください。
アース線は絶対にガス管にはつながないでください。





- 使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



- ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクターに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。

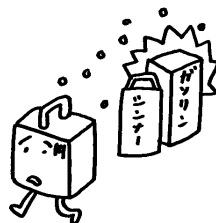


- ヘッドは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。火傷や火災の恐れがあります。



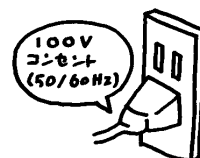
- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧はAC100V (50/60Hz) です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。



- ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、スパークによる火傷、発火の恐れがあります。

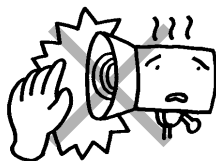


注 意



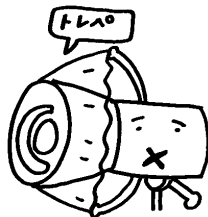
- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



- ヘッドは、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- ヒューズやモデリングランプは指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに

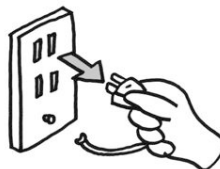
使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。

コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



- 使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。



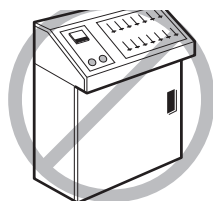
2 使用上のご注意とお願い

■調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。

■ストロボ電源部は使用しないときでも1カ月に1～2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。

特に3カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。

長期間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります。



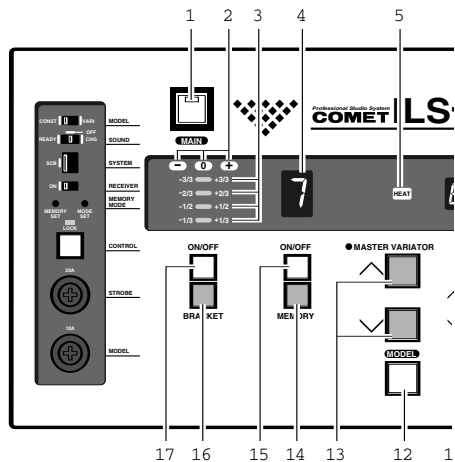
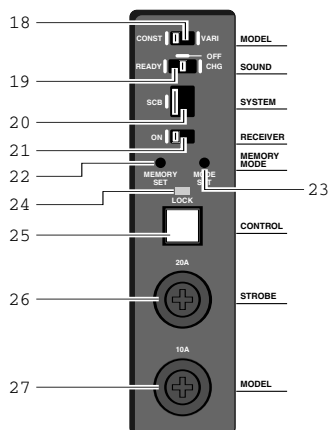
■赤外シンクロ装置(当社製)の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。

蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

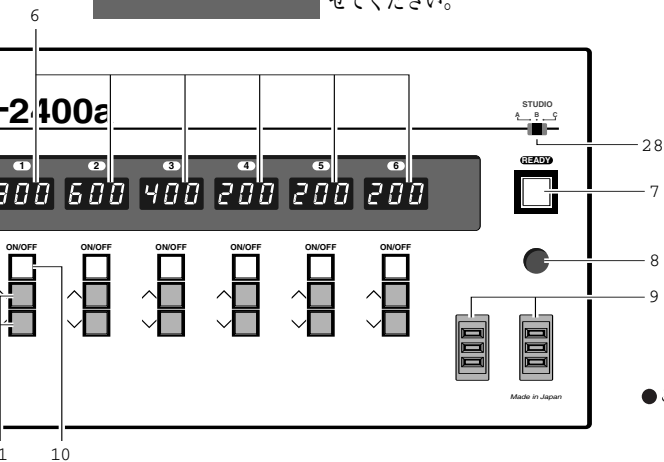
■複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置(当社製)で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。

3 各部の名称とはたらき

	名称	はたらき	参照頁
1	メインスイッチ (MAIN)	A C電源スイッチです。	10・17
2	ブラケットポジションランプ	オートブラケット機能使用時、発光ごとに設定されたモードのEV値で「+」「0 (適正)」「-」の順に点灯します。	17・18 19
3	ブラケットモード表示ランプ	ブラケットのステップ巾、1/3・1/2・2/3・3/3を表示します。	18
4	メモリーNo. 表示	呼び出したメモリーNo. を表示します。	15・16
5	過熱警報表示 (HEAT)	内部の電子部品が所定の温度以上になると、ブザーが鳴り表示が点滅します。	21
6	出力表示	出力①～⑥ (ILS-1200は①～③) の出力をWsで表示します。不発光が生じたときは表示が点滅します。	11
7	レディーランプ (READY) /テスト発光スイッチ	充電が完了すると点灯します。テスト発光をするときはランプ部を軽く押してください。	12
8	リモコンレシーバー	リモコンの受光部です。	19・20
9	シンクロソケット	CXタイプのシンクロコード (別売) でカメラと接続します。	12
10	各灯ON/OFFキー	出力を「ON」または「OFF」にします。 (ILS-1200は3灯・2400aは6灯)	13・17
11	各灯バリエーターキー	設定されたモードの出力をFULLから1/16 (200Wsモードは1/8) までを1/6EVステップで調光します。	13
12	モデリングランプキー (MODEL)	モデリングランプをON/OFFにします。	14
13	マスターバリエーターキー (MASTER)	出力バリエーター①～⑥ (ILS-1200は①～③まで) で設定されている出力を1/6EVステップで全体を調光します。	13
14	メモリーキー (MEMORY)	メモリー1～7を呼び出します。	15・16



	名称	はたらき	参照頁
15	メモリーON/OFFキー	メモリーを呼び出すとき「ON」にします。	15・16
16	ブラケット選択キー (BRACKET)	オートブラケット機能を使用するとき、 $\pm 1/3 \sim \pm 3/3$ EVを選択します。	17・18 19
17	ブラケットON/OFFキー	オートブラケット機能を使用するときは3秒間押し続けて「ON」にします。このときブラケットポジションランプの「+」が点灯します。	17・18 19
18	モデリングランプモードスイッチ (CONST・VARI)	モデリングランプを「100%点灯 (CONST)」または「調光 (VARI)」に選択します。	14
19	サウンドモードスイッチ (SOUND)	「充電完了 (READY)」 「充電中 (CHG)」 「OFF」を切り替えます。	18
20	システムスイッチ (SYSTEM)	専用のILS-SCB I / IIを接続して使用するときは「SCB」側にセットします。	
21	リモコンON/OFFスイッチ (RECEIVER)	付属のリモコンで操作するときには「ON」にしてください。	19・20
22	メモリーセットスイッチ (MEMORY SET)	設定した出力を記憶させるときに押します。約3秒間押し続けると“ピーピーピーピッ”とブザーが鳴り記憶します。	15
23	出力モードセットスイッチ (MODE SET)	穴の中にあるスイッチを押すと各出力の最大値設定が変更されます(4モード)。ボールペンなど先の尖ったもので押してください。	
24	ロック表示ランプ	ロックスイッチがONのとき点灯します。	18
25	ロックスイッチ (CONTROL)	セットされている設定を不用意にさわっても変化しないよう、安全のためのスイッチです。モデリングランプスイッチ以外のスイッチはすべてロックされます。	18
26	ストロボヒューズ (STROBE)	ストロボ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	22
27	モデリングランプヒューズ (MODEL)	モデリングランプ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	22
28	スタジオセレクトスイッチ	リモコンを使用するとき、リモコンと本体のチャンネルを合わせてください。	20

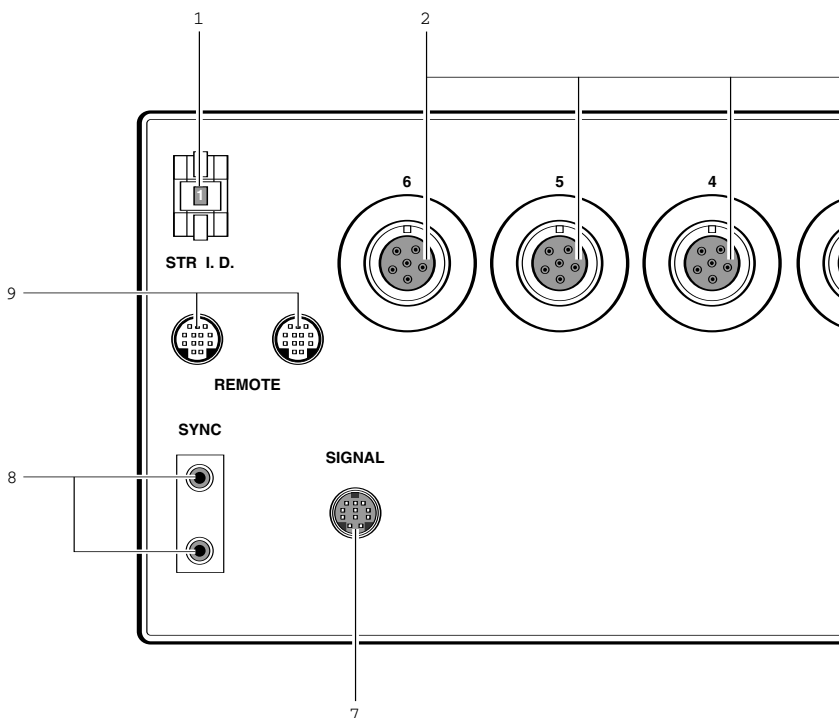


●ここに示す図はILS-2400a電源部です。

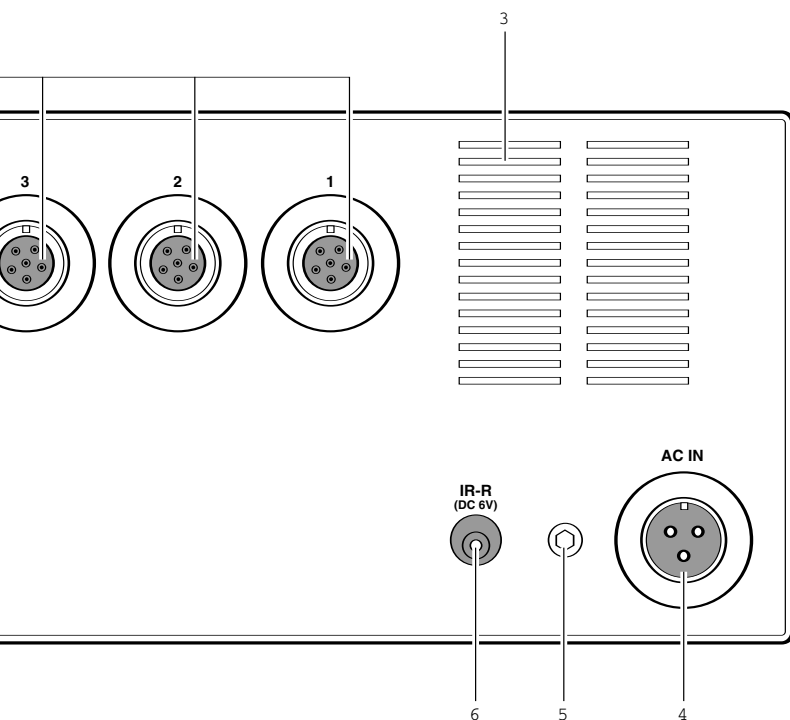
3 各部の名称とはたらき

●ここに示す図はILS-2400a電源部です。

名称	はたらき	参照頁
1 ストロボ I.Dスイッチ (STR I.D)	ILS-SCB IIと接続して複数台の電源部を使用するとき、各電源部に固有の番号を与え、認識させます。 1～4の番号が重複しないようにセットしてください。	10
2 出力コネクター1～6 (ILS-1200Iは1～3)	ヘッドを接続します。 着脱時はメインスイッチを「OFF」にしてください。	10
3 クーリングファン	冷却ファンの排気口です。ふさがないでください。	
4 ACコネクター (AC IN)	ACコード (付属品) で電源部とACコンセントを接続します。	10
5 接地端子 (アース)	感電を防止するため、必ず接地してください。	10



名称	はたらき	参照頁
6 DC 6 V出力端子 (IR-R (DC6V))	IR-R用電源出力端子です。付属のDCコードで接続します。 IR-R以外の目的では使用しないでください。	
7 シグナル端子 (SIGNAL)	ILS-SCB I／IIを使用するとき、シグナルコードで本機と接続します。	
8 シンクロ端子 (SYNC)	電源部間、電源部とILS-SCB間のシンクロ接続、またシンクロを外部に取り出すときに使用します。	
9 リモートコネクター (REMOTE)	ILS-SCB IIを使用するとき、リモート用ジャンパーコードで本機と接続します。	

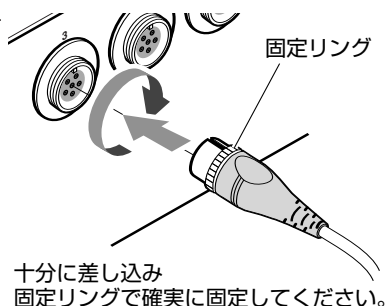


4 操作手順

■ 1. ヘッドコードを電源部に接続してください。

使用するヘッドのコネクターを電源部の出力コネクターに十分に差し込み、固定リングで確実に固定します。

- 必ずアースの接続をしてご使用ください。



■ 2. ACコードを接続してください。

ACコードをACコネクターへ接続します。十分に差し込み、固定リングで確実に固定します。電源部のメインスイッチが「OFF」になっているのを確かめてから、ACコンセントに接続します。

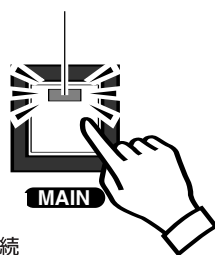
■ 3. メインスイッチを「ON」にしてください。

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。

ACパイロットランプが点灯して初期充電が始まります。

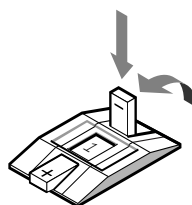


ACパイロットランプ



【ご注意】

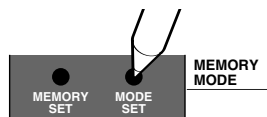
- ILS - SCBを接続しているときは、本機との間を専用のコードで接続する必要があります。接続についてはILS - SCBの取扱説明書をご参照ください。
- ILS - SCBを接続しているときは、フロントパネル左側のシステムスイッチ (SYSTEM) を必ず「ILS - SCB」側にセットします。
- リアパネルのSTR I.Dスイッチは、ILS - SCB IIを使用するときだけセットします。数字は0～9までありますが、使用するときには必ず1～4にセットしてください。




STR I.Dスイッチ

■ 4. 出力モードセットスイッチを押して出力モードを選択してください。

別表の4つの出力モードの中から、その撮影に適したモードを呼び出し、設定します。呼び出し方は、出力モードセットスイッチをボールペンなどの先の尖ったもので押してください。押すごとに各出力モードの最大出力値が各出力表示部に表示されます。

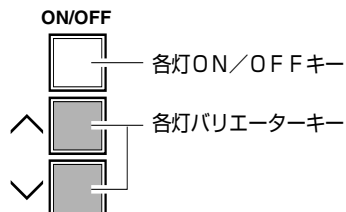


 詳細は14ページをご参照ください。

■ 5. 各灯ON/OFFキーを押して「ON」にしてください。

ヘッドが接続されている出力回路の各灯ON/OFFキーを押して「ON」にしてください。

出力表示が点灯して数値(Ws)を表示します。



■ 6. 各灯バリエーターキーで出力の設定をしてください。

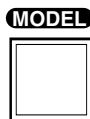
ヘッドが接続されている各灯バリエーターキーを押して必要な出力を設定します。


ヘッドが接続されていない回路は「OFF」にしてください。

■ 7. モデリングランプを点灯してください。

モデリングランプキー (MODEL) を押してモデリングランプを点灯します。

モデリングランプモードスイッチで点灯モード (CONST = 100%点灯 / VARI = 調光) を選択します。



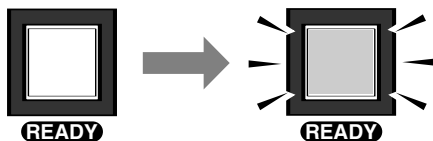
 詳細は14ページをご参照ください。

4 操作手順

■ 8. 充電の完了。

充電が完了するとレディーランプ (READY) / テスト発光スイッチが点灯して発光準備が完了します。

ランプ点灯で充電完了



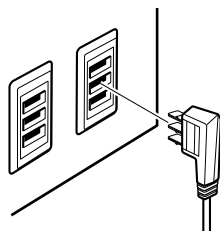
■ 9. テスト発光をしてください。

レディーランプ (READY) / テスト発光スイッチを軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。

■ 10. カメラとのシンクロを確認してください。

シンクロコード (別売) でカメラと接続し、シンクロ発光テストをします。

- 本番撮影をされる前に実際のフィルム、もしくはインスタントフィルム等で、カメラのシンクロ (発光) テストをされることをお勧めします。



【ご注意】

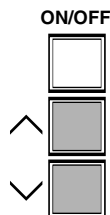
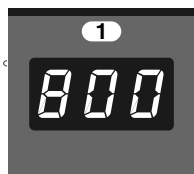
- カメラ、またはレンズにM/X接点があるときは、必ずX接点を使用してください。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を1/60～1/30で
使用してください。
- カメラによっては、シンクロコードに極性のあるものがあります。このときはシンクロコードプラグを逆に差し込み、使用してください。

5 各灯バリエーター

各灯バリエーターは選択した出力モードの各々の最大出力から $1/16$ (最大出力 200Ws のみ $1/8$) までを $1/6\text{EV}$ ステップで調光します。

■各灯の調光方法

1. 使用する各灯 ON/OFF キーを「ON」にします。
2. バリエーターキーは1クリックごとに $1/6\text{EV}$ づつ調光します。
(押し続けると 1EV づつ調光します)
3. 出力が最大または最小に達すると“ピッピッ”の警告音と、その出力表示が二度点滅して知らせます。



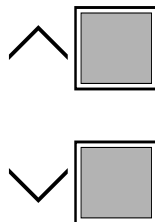
6 マスターバリエーター

マスターバリエーターは、各灯バリエーターキーで調光設定した出力比を保ちながら、全体を $1/6\text{EV}$ ステップで調光します。

■ 調光範囲

いずれかの出力が最大もしくは最小になるまでの範囲を $1/6\text{EV}$ ステップで調光します。いずれかの出力が最大か最小に達すると“ピッピッ”の警告音と、その出力表示が二度点滅して知らせます。

● MASTER VARIATOR



【ご注意】

●すでにいずれかの出力が最大出力、または最小出力を使用しているときマスターバリエーターは機能しません。

7 出力モード

本機は、出力設定を下表の4モードの中から選択できます。ライティングにもっとも適したモードを選んで設定してください。

● 出力モードの選択

出力モードセットスイッチをボールペンなどの先の尖ったもので押して呼び出します。

押すごとに各灯出力表示にそれぞれの最大出力が表示されます。

	ILS-1200			ILS-2400a					
出力No.	1	2	3	1	2	3	4	5	6
モード1	400	400	400	600	600	400	400	200	200
モード2	600	400	200	800	600	400	200	200	200
モード3	800	200	200	600	400	400	400	400	200
モード4	800	400	—	400	400	400	400	400	400

単位=Ws

8 モデリングランプキー・モデリングランプモードスイッチ

■ モデリングランプキー

使用しているすべてのヘッドのモデリングランプを一括でON/OFFします。

MODEL



■ モデリングランプモードスイッチ

- CONST 各灯のストロボ出力に関係なく、モデリングランプが100%の明るさで点灯します。
- VARI 各灯のストロボ出力に連動した明るさに調光します。



9 メモリーの登録・呼び出し

本機には設定したライティング光量をメモリーに登録し、必要なときに呼び出せる機能があります。

■ ライティングを登録する

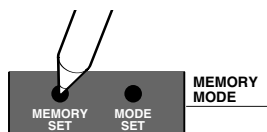
1. メモリーON/OFFキーを「ON」にします。
1～7のいずれかの数字が表示されます。
2. これから登録しようとするライティングパターンを何番に登録するかを決め、そのメモリーNo.をあらかじめメモリーキー（MEMORY）で呼び出しておきます。
3. ヘッドの位置を決め、各灯バリエーターキーの操作でストロボ出力を決定します。
4. ストロボ出力が決定したらメモリーセットスイッチをボールペンなど、先の尖ったもので約3秒間押し続けてください。この間、サウンドが“ピーピーピー”と3回鳴り、その後“ピッピッ”と短い間隔で鳴って登録が完了します。




ON/OFF



MEMORY



●登録されているライティングを使用しているとき、各灯バリエーターキーやマスターバリエーターキーで光量を変えると、メモリーNo.が点滅します。変更後もとのライティングに戻すときは、メモリーON/OFFキーをいったん「OFF」にし再び「ON」にしてください。または、メモリーキー（MEMORY）を押し続けて、登録したメモリーNo.を表示させてください。

 詳細は16ページをご参照ください。



ON/OFF



MEMORY

●なんらかのトラブルで登録ができなかったときは出力表示がすべて「8」の点滅になり、警報音が鳴ります。解除には次の操作をします。

1. 他のメモリーNo.を選択する。
2. メモリーON/OFFキーを「OFF」にしてメモリーの使用を解除する。

9 メモリーの登録・呼び出し

■ メモリーに登録されたデータを呼び出す

メモリーON／OFFキーを「ON」にする操作でいつでも呼び出すことができます。

各メモリーを呼び出すときは、希望するメモリーNo. がメモリーNo. 表示ランプに表示されるまでメモリーキー (MEMORY) を押し続けてください。


ON/OFF



MEMORY

■ データの書き換えをする

登録されたデータを書き換えるときは、そのデータを呼び出し、後は前項の「ライティングを登録する」の順序と同じ操作をします。

 詳細は 15 ページをご参照ください。

■ データの保存

本機は最後に使用したデータを記憶する機能があります。記憶期間は約 1 週間です。

データの記憶維持には、内蔵のバックアップ用コンデンサーによって行われますから、1 週間に 30 分程度の通電が必要です。もし、データが消失したときは出力表示がすべて「8」の点滅になり警報音が鳴ります。初期状態にするには各灯ON／OFFキー (①) ～ (⑥) のいずれかを押します。すべての回路が 400Ws のモードになりますから使用するモードに設定し直してください。

【ご注意】

- オートブラケットを使用中に電源を切ったときは、そのときの光量設定は記憶されていますがオートブラケットは解除されます。

■メモリーの書き換え回数表示

本機に登録されたデータは内蔵のメモリーボードにより、約10年間放置しても消失することはありません。またデータの書き換え回数は1万回ですから通常の使用では書き換え不能になることはありません。なお、書き換え頻度が非常に多い場合など、その回数をチェックすることができます。1万回に達する前にメモリーボードを交換することにより、その後も支障なくご使用いただけます。

●書き換え回数のチェック

各灯ON/OFFスイッチの(1)を押しながらメインスイッチを「ON」にします。

【例1】ILS-2400aの書き換え回数が100回の場合



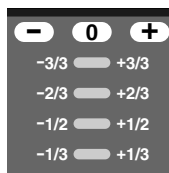
【例2】ILS-1200の書き換え回数が100回の場合、表示数×10が回数です。



10 オートブラケット機能

オートブラケットは、適正露光量を決定し本番の撮影をするとき、適正値の前後の値を1/3EV・1/2EV・2/3EV・3/3EVの中から選択して撮影することができます。

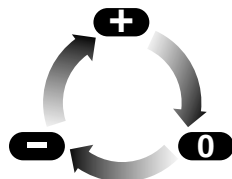
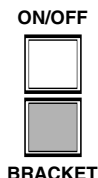
ポジフィルムによる撮影やテスト撮影のときに大変便利です。



■操作方法

最終ライティングが決まったら

1. ブラケットON/OFFキーを3秒間押し続け「ON」にします。
- (-) (0) (+) のランプの (+) が点灯します。
2. ブラケット選択キー (BRACKET) でブラケットのステップ巾を選びます。
- シャッターごとに次ページの表のように露光されます。
3. ブラケット機能を解除するときはブラケットON/OFFキーを3秒間押し続けて解除してください。



10 オートブラケット機能

■ ブラケットモード選択と調光の順序

1 / 3 EV	+ 1 / 3 EV	→	0 (適正)	→	- 1 / 3 EV
1 / 2 EV	+ 1 / 2 EV	→	0 (適正)	→	- 1 / 2 EV
2 / 3 EV	+ 2 / 3 EV	→	0 (適正)	→	- 2 / 3 EV
3 / 3 EV	+ 3 / 3 EV	→	0 (適正)	→	- 3 / 3 EV

- ブラケットは解除するまで繰り返します。撮影が済んだら解除してください。
- 1 シャッター後にロック機能が働き、操作部左のロック表示ランプ (LOCK) が点灯します。モデリングランプキー以外のスイッチはすべてロックされます。

■ オートブラケット時のサウンドモード

サウンドモードスイッチ (SOUND) を「CHG」モードにセットしておくと、ブラケット ON / OFF キー (BRACKET) を「ON」にしている間中ブザー音が鳴り、ブラケットモードになっていることを知らせします。(ピーピーピー・・・)




サウンドモードスイッチ (SOUND) を「READY」モードにセットしておくと、充電完了時に「ピッ」と完了音が鳴ります。

- 充電中はサウンドは鳴りません。

なお、サウンドスイッチ (SOUND) が「READY」モードのときは、ブラケット ON / OFF キーに関係なく充電完了時にブザーが鳴ります。

【ご注意】

●発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき(充電完了後の不発光警報)、不発光状態が解消するまで同じ位置でくり返します。

 詳細は 21 ページをご参照ください。

●オートブラケットで1度発光すると各灯バリエーターキー、マスターバリエーターキーでの光量調整はできなくなります。光量を変えるときはブラケットON/OFFキーでブラケット機能を解除してください。

●ブラケット範囲外に設定されたときは該当する出力表示が点滅し、警報音が鳴ります。

●撮影途中でミスショットがあったときは空発光させ、ミスショットをしたポジションにセットしてから始めてください。

●ブラケットON/OFFキーを「ON」にして、メモリー機能を選択するとブラケット機能は解除されます。(メモリー機能優先)

オートブラケットを使用するときは再びブラケットON/OFFキーを「ON」にしてください。

11 リモートコントロール機能

本機はワイヤレスリモコンを使用することにより、登録されたライティング光量を呼び出し、テスト発光とスタジオセットの切換をする機能があります。

■ メモリーの呼び出し

本機には7パターンのライティング光量をメモリーに登録することができます。

メモリーを呼び出すときはリモコンのメモリー呼び出しボタン(1～7)のボタンを押して呼び出します。

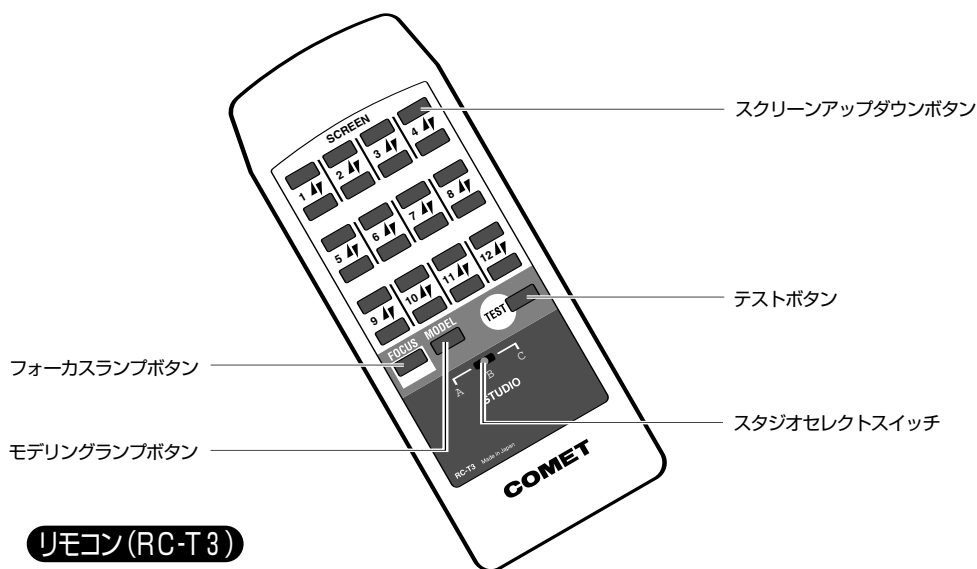
■ テスト発光

テスト発光をするときはテストボタン(TEST)を押します。

■ スタジオセットの切換

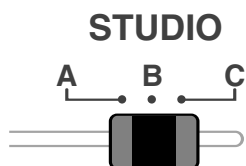
1スペースに最高3面のスタジオセットが併設されているときなど、スタジオセレクトスイッチ(A・B・C)の切換で他のセットに影響を与えずメモリーの呼び出し、テスト発光ができます。

11 リモートコントロール機能



【ご注意】

- リモコンには1～15のボタンがあります。8～15はILS-SCB IIとのセット時のみ有効です。
(ILS-SCB II使用時は15メモリーになります)
- リモコンを使用するときは電源部のリモコンON/OFFスイッチ(RECEIVER)を「ON」にしてください。
- スタジオセレクトスイッチは、電源部本体前面のスイッチが正しくセットされていなければ機能しません。



12 不発光警報

■ 充電完了後の不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、該当出力表示が点滅し、同時にブザーでどの出力コネクタに接続されたヘッドに不発光が生じたかを知らせます。

警報の解除は各灯 ON / OFF キーを押すかメインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にすることで解除します。

- ブザーはサウンドモードに関係なく鳴ります。

■ 充電完了前の不発光警報

充電完了前に発光操作を行ったときは、使用している全ての出力表示が点滅し、同時にブザーで知らせます。

- ブザーはサウンドモードに関係なく鳴ります。

警報の解除は、充電完了後にふたたび発光操作をして正常に発光すれば自動的に解除されます。

また、各灯 ON / OFF キーを押すか、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にすることも解除します。

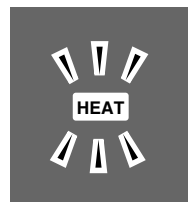
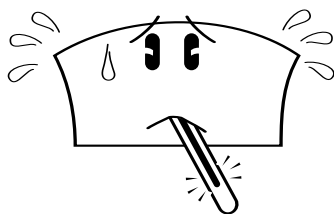
13 過熱警報

長時間の連続発光などにより、内部の電子部品が所定の温度以上になったとき、過熱警報表示 (HEAT) が点滅し、同時にブザーで知らせます。このときは速やかに使用を中止してください。

- ブザーはサウンドモードに関係なく鳴ります。

【ご注意】

過熱警報が働いたときは、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にし、再び「ON」にするとブザーが止まります。この状態で電源部内の温度が下がるのをお待ちください。 所定の温度以下になると、過熱警報表示 (HEAT) が消えて使用できる状態になりますが、完全に温度が下がったわけではありませんので連続発光はさけてください。



14 リセット

以下の場合には本機のリセットを行ってください。

- 本機に登録されているデータをすべて消去するとき。
- 出力表示がすべて「8」の点滅になり、警報音が鳴ったとき。
(本機が何らかのエラーの発生を認識したとき)
- 何らかの原因で動作に異常が発生し、操作不良になったとき。
(本機が認識できないエラーが発生したとき)

以上のときはメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、各灯 ON / OFF キーの (1) (2) を同時に押しながら再度メインスイッチを「ON」にします。2～3 秒後に各灯 ON / OFF キーから手を放します。出力表示がすべて「8」の点滅になり警報音が鳴りますので、各灯 ON / OFF キーの (1) ～(6) のどれかを押してください。

リセットを行っても同様の異常が発生し、操作不良のときは故障が考えられます。

ご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

15 ヒューズ交換

該当するヒューズホルダーの蓋を⊕ドライバーで外し、断線したヒューズを取り出します。切れたヒューズと同じ定格のものと交換してください。

	ILS-1200	ILS-2400a
ストロボ (STROBE)	1 5 A	2 0 A
モデリングランプ (MODEL)	3 A	1 0 A

【ご注意】

- ヒューズ交換は、メインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ず AC プラグをコンセントから抜いて行ってください。

16 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のシンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

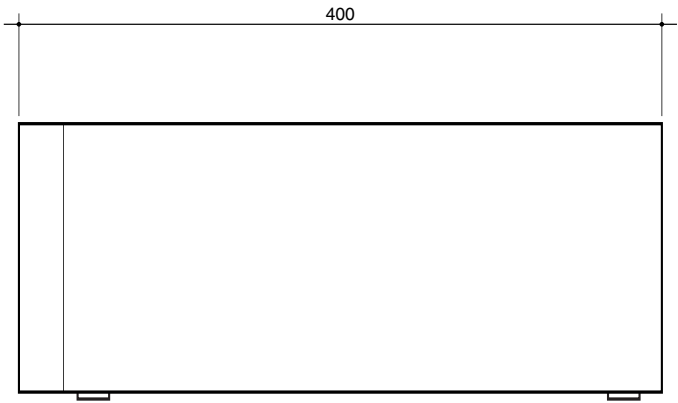
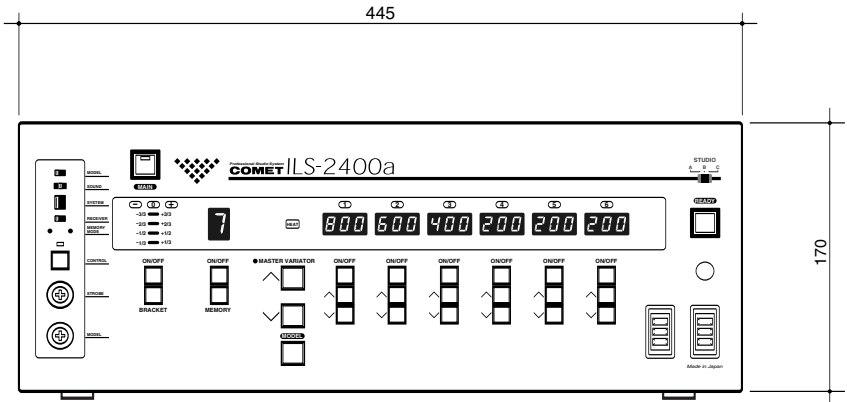
また、修理伝票は次回の修理に必要となるときがありますので大切に保管してください。

17仕様

品 名		ILS-1200電源部	ILS-2400a 電源部
型 式		ILS-1200	ILS-2400a
定 格 電 圧		AC 100V ±10% 50/60Hz	
ヒューズ定格		ストロボ 15A	ストロボ 20A
		モデリングランプ 3A	モデリングランプ 10A
最 大 出 力		1200Ws	2400Ws
充 電 時 間		2.4秒	
出 力 灯 数		3 (S・CX) (CXタイプ=受注生産)	6 (S・CX) (CXタイプ=受注生産)
出力モード ×100Ws	モード1	4・4・4	6・6・4・4・2・2
	モード2	6・4・2	8・6・4・2・2・2
	モード3	8・2・2	6・4・4・4・4・2
	モード4	8・4・-	4・4・4・4・4・4
各灯スイッチ		ストロボ、モデリングランプをON/OFF	
ストロボ調光方式		コンデンサー 調 光	
各灯調光バリエーター		FULL~1/16 (200Ws 回路はFULL~1/8) 1/6EVステップ	
マスター調光 バリエーター		1/6EVステップ いずれかの出力値が最大、または最小に達するとストップ 出力が最大、または最小を設定時は調光不可	
モデリング調光モード		連動調光 (VARI) / コンスタント (CONST)	
モデリングスイッチ		全灯一括ON/OFF	
モデリングランプ定格		300W	1000W
オートブラケット		1ショットごとに ⊕オーバー → ①適正 → ⊖アンダー の順に出力が変わる ±1/3EV・1/2EV・2/3EV・3/3EVをスイッチで選択	
メモリー数		7	
リモートコントロール		メモリー呼び出し/テスト発光	
シンクロソケット		フロントパネル・3PBF×2 / リアパネル・ピンジャック×2	
シンクロ電圧		DC 12V	
IR-R専用DC端子		DC 6V	
サウンドモード		充電中音/充電完了音/OFF	
不 発 光 警 報		該当出力表示点滅とブザー連続音	
過 熱 警 報		ヒートランプ点滅とブザー連続音	
クーリングファン		内 蔵	
寸 法		445 (w) x 170 (h) x 400 (d) mm	
重 量		13.7kg	16.3kg

- 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
 なお、この仕様は2004年6月現在のものです。

ILS-1200/2400a 電源部外観寸法



単位 mm

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- スイッチを入れても所定の時間で充電しない
- 通電中に異音、異臭、あるいは発煙する
- ヒューズがすぐ切れる
- ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感ずる
- その他の異常や故障があるとき

このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。

- ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

- 上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL(03)3264-8621	FAX(03)3264-6385
札幌営業所	〒064-0805	札幌市中央区南5条西12丁目	TEL(011)561-2488	FAX(011)563-2620
仙台営業所	〒981-8003	仙台市泉区南光台 4-29-25 サンエイハイム101	TEL(022)727-6521	FAX(022)727-6523
東京営業所 営業課	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL(03)5245-3831	FAX(03)5245-3835
東京営業所 コマーシャル課	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL(03)5245-3831	FAX(03)5245-3835
東京営業所 デジタルイメージング	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL(03)5245-3831	FAX(03)5245-3835
名古屋営業所	〒464-0075	名古屋市中区千種区 内山 3-1-1 桜通 内山ビル1F	TEL(052)735-9077	FAX(052)735-9088
大阪営業所 営業課	〒550-0015	大阪市西区南堀江 2-9-22	TEL(06)6536-0671	FAX(06)6536-4020
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015	大阪市西区南堀江 2-9-22	TEL(06)6536-1667	FAX(06)6536-4020
広島営業所	〒730-0051	広島市中区江波西 1-7-16 リラハイツ	TEL(082)293-0075	FAX(082)293-0076
高松営業所	〒761-8032	高松市鶴市町 10-35-7	TEL(087)881-9344	FAX(087)881-9342
福岡営業所	〒812-0042	福岡市博多区豊 2-1-4	TEL(092)411-1202	FAX(092)411-1209
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042	福岡市博多区豊 2-1-4	TEL(092)411-1254	FAX(092)411-1209
一級建築士事務所	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL(03)3264-8623	FAX(03)3264-9906
海外事業部	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL(03)3264-8622	FAX(03)3264-6385
ストロボクリニック部 本部	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL(03)3234-5081	FAX(03)3234-1356
産業機器部	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL(03)3264-8692	FAX(03)3264-8624